

深川東京

fukagawa tokyo modankan news

モダン館だより

共催

モダン講談会

10月15日(土)14時半～(開場14時)

出演 一龍齋貞太
神田陽菜
神田陽子
神田紫
一仲入りー
神田桜子
一龍齋貞橘

天高く馬肥ゆる、、、講談の秋!!

定員：50名(要予約)全席自由席

予約・当日とも 一般：3,000円 小～高校生：1500円

後援：一般社団法人日本講談普及協会・日本講談協会

※9月27日(火)10時から電話で受付予約

※当館の催し物のご予約は 10時から お電話 03-5639-1776 まで

10月のカレンダー 催し物の詳細は2面をご覧ください

月	火	水	木	金	土	日
					1	2
3 休館日	4	5	6	7	8	9
10	11 休館日	12	13 キッチン 松ぼっくり 営業日	14	15 講談会	16
17 休館日	18	19	20	21	22 ふかにこ ファクトリー	23
24 休館日	25 嘶+話	26	27	28	29	30 圓橘の会

開館時間 10:00-18:00 (金・土曜日は19:00まで)

10月の催し

共催

ふかニコ ファクトリー

10月22日(土)

①11:00~12:00

②13:00~14:00

リトミック要素を取り入れたミニコンサートと
親子で一緒に楽しめる簡単な作品を作ります

歌&読み手 YUKKIY(ユッキー)
イラスト Reap(リープ)ほか



0歳からOK!

大人 700円 子ども 300円 大人子ども合わせて各回18人 ※9月27日(火) 10時から受付開始

共催

圓橘の会

10月30日(日) 15:00~
(開場14:30)

「蛙茶番」 “銭湯で股ぐら覗く恋敵”
三遊亭圓橘

「死神」 “神無月一人のこって笑ってる”



予約 2,500円 当日 2,800円 定員 50名 ※10月5日(水) 10時から受付開始

共催

噺 + 話

おきがる講座と落語会モダン亭のコラボ

10月25日(火) 14:00~ (開場13:30)



柳家小志ん「唐茄子屋政談」

+ 龍澤潤「演題にちなんだ話」

予約・当日 1,500円 定員 20名

※10月5日(水) 10時から受付開始

懐かしい給食の味!

キッチン 松ぼっくり

10月13日(木) 11:45~14:00

きのこご飯 煮魚 煮びたし 汁物
じゃが芋バター煮

700円

※完売次第、閉店いたします ※ご予約はできません
※メニューを一部変更する場合があります

揚げパンは1個50円



※当館の催し物のご予約は 10時から お電話 03-5639-1776 まで

●お客様へのお願い

- ・次に該当するお客様のご来場は、ご遠慮いただきますようお願いいたします。
37.5度以上の発熱があるお客様 咳、喉の痛み等の症状があるお客様
過去2週間以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国・地域への訪問歴があるお客様
- ・マスクを着用でないお客様のご入場はご遠慮いただきます。咳エチケットにご協力をお願いいたします。
- ・手洗いと手指消毒にご協力をお願いいたします。
- ・催し物にご参加されるお客様には、氏名・連絡先等を確認させていただく場合がございます。



永代橋と永代亭

はじめまして。2021 年からモダン館ガイドとして活動しております田坂知子と申します。来館時には、お気軽にお声かけ下さい！

早速ですが、永代橋はここモダン館からも近く、皆様お馴染みかと思います。「震災復興事業の華」と謳われた清洲橋に対して、「帝都東京の門」と言われ、ドイツのライン川に架かっていたルーデンドルフ鉄道橋をモデルにした現存最古のタイドアーチ橋です。設計は復興局土木部長の太田圓三を中心に田中豊、竹中喜忠が行いました。

永代亭は、明治末期ごろ、永代橋東詰（江東区佐賀 1-1）あたりにあった、当時としてはめずらしい西洋料理店でした。当時の若い作家・詩人・画家たちの溜まり場になっていて、そのグループ名はギリシャ神話に出てくる牧羊神 (pan) から「パンの会」と名付けられました。主な会員に、北原白秋、谷崎潤一郎、石川啄木、高村光太郎、木下杢太郎などがいました。なかでもパンの会の中心的な存在であった木下杢太郎の本名は、太田正雄、画家やドイツ文学者を目指した頃もあったようですが、親交のあった森鷗外の勧めで医者为本業としました。

この永代橋設計に携わった「太田圓三」は、パンの会の「木下杢太郎（太田正雄）」の 4 歳年上の実兄です。学生時代には東京で同居もしていた仲の良い兄弟だったそうです。残念なことに、太田圓三は手掛けた「隅田川六大橋」の完成をみないで自殺してしまいます。木下杢太郎は、亡き兄圓三が心血を注いで設計した永代橋を想って、『春の

おち葉』に「永代工事」という詩を詠んでいます。

この二人が兄弟ということは、伊東市にある木下杢太郎記念館で偶然知りました。裕福な太物商だった生家を記念館としたもので、木下杢太郎の医学者、詩人、劇作家、美術評論家、画家としての多彩な活躍が展示されています。兄・圓三についても、携わった復興事業に関する資料が主に展示されており、冊子も販売されています。伊東駅から近く、伊東にお出かけの際には見学をお勧めいたします。兄弟の軌跡以外にも、建物が天保 6 年建築の伊東市最古の民家であることや、木下杢太郎が北原白秋とともに創刊した機関誌「屋上庭園」創刊号の黒田清輝が描いた表紙など、見どころがたくさんあります。

初めてこの記念館を訪れた 2013 年には、永代亭の画が永代橋のパネルの近くに展示されていたように記憶していたのですが、現在は永代亭の画の展示はありません。記念館の人に、永代亭の画の作者が木下杢太郎かをお聞きしたのですが、右上に杢太郎が使っていたサインに似ているものがあるが、断定できないとお話でした。永代橋を見る時、とても雄々しい橋なのですが、今はなき永代亭と太田兄弟を思って、少し寂しい気持ちがします。



織田一磨画「永代亭追憶圖」

野田宇太郎『日本耽美派文学の誕生』（河出書房新社、1975 年）
口絵より 野呂達矢氏蔵



（文と写真 江東区文化観光ガイド 田坂知子）

深川東京モダン館では江東区文化観光ガイドによる館内のご案内（10時～16時）およびご希望によりモダン館周辺のまちあるきツアー（1時間程度、11時・14時出発）を行っています。※新型コロナウイルス感染状況によって中止になる場合があります。※諸事情によりガイド不在の場合もあります。

貸会議室・多目的スペース

深川東京モダン館では2階の多目的スペースと会議室をお貸し出ししています。ミーティングやイベントを行うスペースなどにご利用ください。

◆会議室 (20㎡)

利用日時：開館日時 利用例：社内ミーティング、商談、お花・書道・語学の教室等

◆多目的スペース (80㎡)

利用日時：開館日時 利用例：展示、イベント、社内研修、演劇の公演、講演会、教室等



多目的スペース



会議室

※料金、ご予約（ご利用日の半年前から受付）詳細については、お電話またはメールにてお問い合わせ下さい。

※スクリーン、プロジェクター、マイクなど機器類もご利用いただけますので、ご相談ください。

ガイドブック・お土産品

深川東京モダン館1階では、まちあるきに役立つガイドブックや江東区の文化財ガイドなどを販売しています。

- ・『江東区の文化財』各地域
- ・江東区観光キャラクター
コトミちゃんグッズ各種
(タオルハンカチ ステンレスボトル等)

- ・江東区の名所を描いた絵はがき
(水彩・切絵・写真)

- ・もくレース
- ・深川めしの素
- ・ちくま味噌 甘酒
- ・はちみつ
- ・ゲイシャコーヒー
- ・Tシャツ 等

東京土産、深川土産に
PICOのコーヒーをどうぞ

深川ゲイシャ
3個パック850円(税込)
5個パック1,350円(税込)
(有)ピコフードサービス



百圓珈琲

1F カウンターでは 100 円のコーヒーをご提供しております。

ホットコーヒー「小樽」「ベイキャメル」「モダン館ブレンド」(しつかり・すっきり)の4種類をご用意しております。

まちあるきの
休憩時や会社
のお昼休み中
の一杯にどうぞ。



開館日および開館時間

10:00-18:00 (金・土曜日は19:00まで)

休館日：月曜日

(月曜日が祝日の場合、翌火曜日が休館となります)



「深川東京モダン館だより」第114号(2022年9月22日)

発行 (一社)江東区観光協会 深川東京モダン館

〒135-0048 東京都江東区門前仲町1-19-15

TEL 03-5639-1776 FAX 03-5620-1632

Mail info@fukagawatokyo.com

ホームページ www.fukagawatokyo.com

